



2023年

富士フィルム・
Fuji Film Green Fund
グリーンファンドに
ご応募ください

締め切り

2023.5/8月

*応募要項の公開・配布期間は3月からです。
応募要項のご請求は3月以降にお願いします。

富士フィルム・グリーンファンドは、今年（2023年度）で40年目を迎え、昨年までの助成先は209件となりました。身近な自然を守るために地域に根づいた活動をしてきた方、あるいは環境保全の研究を実際に進めてきた方で、この助成によって大きな進展が望める活動や研究を対象としています。

今年度は8件程度、総額850万円の助成を予定しています。

募集要項
をご希望
の方

ハガキまたはファクスに住所・氏名・電話番号・研究あるいは活動助成の別を明記の上、下記宛までご請求ください。また、一般財団法人自然環境研究センターのウェブページ (<http://www.jwrc.or.jp/>) から当該文書をダウンロードすることができます。

〒130-8606 東京都墨田区江東橋3-3-7 (一財)自然環境研究センター内
公益信託富士フィルム・グリーンファンド事務局

TEL.03-6659-6310 (平日10:00~17:00) FAX.03-6659-6320 <http://www.jwrc.or.jp/>

2023 年度

富士フィルム・グリーンファンドにご応募ください。



応募資格

1. 活動助成を申請するものは、身近な自然の保全や、自然とのふれあい活動を積極的に行っていること
2. 研究助成を申請するものは、身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究等を行っていること

対象となる活動 / 研究

1. 営利を目的としない活動及び研究
2. 活動及び研究が行われるフィールドは、日本国内であること
3. 活動助成の場合には、活動フィールドができる限り申請者（申請団体）によって既に確保されている等、活動フィールドの基盤がしっかりしているもの

研究助成の場合には、フィールドでの研究に対し地権者の許可もしくは協力関係が保たれているもの

4. 個人もしくは団体申請において、活動及び研究の実績があるもの（ある程度実績があり、発展的な活動や研究を行うための申請であれば対象となる）
5. 個人による申請の場合、助成金の使途が助成の趣旨に沿って適確・厳正であり、助成金の使途において本人あるいは親族等、特別な関係のある者に利益を与えないもの
6. 団体による申請の場合、代表者または管理者の定めのある団体で、役員その他の機関の構成、選任方法、その他事業の運営に重要な事項が特定の者、あるいは特別の関係者等の意志に従わずに、決定・運営されている団体。また、特定の者等に特別の利益を与えていない団体
7. 科学研究費による研究が好ましいと思われる研究は、助成対象としない
8. 過去に当ファンドの助成を受けた個人・団体は助成対象としない

過去3年の助成先

※団体名・所属名等は助成当時のものです

2020

- ・動植物とその生息環境の保全と安全登山のために／雷神山を愛する会／群馬県
- ・「法」の字プロジェクト～低層植物の保護・再生による京都五山送り火の山の保全、そして、送り火行事の保存継承へ～／公益財団法人松ヶ崎立正会／京都府
- ・絶滅危惧II類「ヤマゲチサンショウウオ」の棲息環境の保護・保存と小学児童の環境教育小串ヤマゲチサンショウウオ保護・保存会／山口県
- ・分布北限域におけるエダミドリイシの有性生殖法を用いた養殖・移植方法の確立に向けた活動／NPO 海辺を考えるしおさい21／静岡県
- ・外来種であるキノボリカゲのテリトリーを用いた駆除技術の開発
保田昌宏（宮崎大学農学部）／宮崎県
- ・市民科学手法を活用した外来魚アメリカナマズの侵入前線検出
吉田 誠（国立環境研究所）／滋賀県
- ・西表島固有種シヨキタテナガエビの絶滅回避に必要な保全遺伝学的研究
今井秀行（琉球大学理学部）／沖縄県

2021

- ・愛宕山つべんの森の「生態系管理」「環境教育拠点化」事業
特例認定 NPO 法人愛宕山つべんの森を守る会／長野県
- ・カヤネズミとヒナカマキリを含む地域の生物多様性保全プロジェクト in 竹尾緑地 2021
環境ネットワーク「虹」／福岡県
- ・生物多様性保存型里山ビオトープの造成とその活用に関する事業
NPO 法人自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会／富山県
- ・Lady go! 女性が中心となり、女性が育む「ガイアの森」里山再生モデル事業
NPO 法人どんぐり 1000 年の森をつくる会／宮崎県
- ・やながわ有明海水族館を活用した幅広い世代への体験型環境教育の実施
NPO 法人 SPERA 森里海・時代を拓く／福岡県
- ・ホトケドジョウ類の進化史の解明と保護施策の確立—ホトケドジョウ学の醸成—
宮崎淳一（山梨大学教育学部）／山梨県
- ・七北田低地（仙台・多賀城）へのシジウカラガン復元に向けた基礎研究
呉地正行（日本雁を保護する会）／宮城県
- ・三宅島におけるハチジョウスキの特徴—自然と文化をつなぐ茅葺の復活をめざして—
黒田乃生（筑波大学芸術系）／東京都
- ・奄美群島における漂着物学研究推進のための基礎的研究
西村千尋（歩健学研究室）／鹿児島県

2022

- ・福島県飯館村・耕作放棄地の土地活用に向けた漆の試験栽培、苗木生育のための圃場整備活動
特定非営利活動法人ウルシネクスト／福島県
- ・炭素循環型農業による生きものの保全・再生の拠点づくり
熊野の森もろおかスタイル／神奈川県
- ・埼玉西部を流れる高麗川並びにその流域の水生物の調査並びに川での子供たちへの環境教育
奥武蔵ピースラブ／埼玉県
- ・自然界と共存し、自然界を保全していく町づくり活動
小泉ユニバーサルビーチュユニット／宮城県
- ・淀川のワンドに生息するイタセンバラをはじめとした在来魚類の保全活動と地域に根ざした環境教育
城北水辺クラブ／大阪府
- ・耳石微量元素分析を用いたニホンウナギのハビタット間移動と堰との関係の解明
久米学（京都大学フィールド科学教育研究センター）／京都府
- ・ニホンスッポンとチュウゴクスッポンの交雑実態の解明ならびに交雑個体の検出法の確立
桑原紗香（三重大学生物資源学部）／三重県
- ・淡路島におけるシロチドリの生息・営巣状況の調査および保全対策の実施と検証
立田彩葉／兵庫県
- ・広島県における空気中の環境 DNA を指標にした森林野生哺乳動物の生息モニタリングとその応用に関する研究
西堀正英（広島大学大学院）／広島県
- ・東京都心域の都市緑地を活用したポリネーターガーデンの創出と技術的指針の検討
堀内勇寿（国立科学博物館筑波実験植物園）／東京都

*写真は 2022 年度の助成先より

